

クビアカスカシバ

【学名：*Glossosphecia romanovi*】



写真1 被害部の虫糞



写真2 雄成虫



写真3 老熟幼虫

【被害と発生生態】

- ・発生部位…主幹，主枝
- ・発生時期…5～9月（最盛期：6～7月）
- ・発生好適条件…山際の園地では被害が多い傾向があります。

過去の被害部や環状剥皮を行った部分は被害を受けやすくなります。

- ・症状…被害部より先の樹勢が低下し，枯死する場合があります。

また，被害部からは幼虫の虫糞（フラス）が発生します（写真1）。

【見分け方】

- ・成虫の外観はスズメバチによく似ています（写真2）。
- ・幼虫はふ化当初は乳白色です。老熟すると体長3cm程度で赤みを帯びます（写真3）。

【対策】

- ・虫糞の発生場所を目安に，幼虫を捕殺してください（県内中東部では8月頃が虫糞の発生を確認しやすい時期です）。
- ・休眠期に粗皮剥ぎを行うと，虫糞の発生を見つけやすくなります。
- ・浅い土中で越冬するため，休眠期に中耕してください。
- ・薬剤散布はフェロモントラップ調査結果などを参考に，成虫の飛来初期に実施してください。また，主幹や主枝にもかかるように散布すると効果的です。